



嶺

発行 西武台千葉中学校・高等学校
 発行所 野田市野田三丁目一丁目
 電話 0477-22-1111
 編集 広報委員会
<http://www.seibudai-chiba.jp>

輝陽祭

輝陽祭

9月7日(土)、8日(日)に輝陽祭が行われました。台風接近が心配される中、なんとか天気も持ち、多くの来場者で賑わいました。

今年度で28回目を迎える輝陽祭、今回のテーマは「A・O・H・新たな輝き」です。令和最初の輝陽祭で最高のスタートを切れるよう、このテーマをもとに、生徒ひとりひとりが楽しさを発見、共有しながら、これまでにない新しい輝陽祭にしようという準備を行いました。準備期間が短い中でも、クラスや部活の仲間たちと一致団結して取り組む姿には、日常ではなかなか見ることのできない一体感を感じることができました。

輝陽祭前日のオープニングでは吹奏楽部による大迫力のマーチング演奏、ダンスドリル部によるダンスパフォーマンス、その他にも文化委員会が企画した「西武台千葉クイズ」、生徒会企画による「クラスの出し物紹介PV」などを

行い、生徒、教員を含め学校全体の熱気が高まっていくのが感じられました。

当日、中学生は学年別にテーマを設け、研究発表や作品展を、高校生は遊戯施設や食品販売などを行い、毎年恒例の「のど自慢大会」「担任の似顔絵コンテスト」「アームレスリング大会」もさらなる盛り上がりを見せました。他にも校門付近に設置された特設ステージにおける歌やダンス、書道部による曲に合わせた書道パフォーマンスは見る者を魅了するものでした。

文化委員会・中高生徒会を中心に全校生徒が協力し合い、個性輝く有意義な輝陽祭となりました。来年も更なる発展を目指して取り組んでいきたいと思えます。



2019年度 体育祭

「平成」から「令和」へと元号が変わり、その9月20日(金)に昨年度の「スポーツ祭」から「体育祭」に名称を改め、中高合同で体育祭が開催されました。本年度は、新種目の追加やマスコットの招待、中学生による校歌でダンスなどの変化も大きく見られました。

《新種目の追加》

今回の体育祭は中・高合同でグラウンドのみで行うため、昨年度よりも競技数を増やし、応援合戦、ムカデ競走、玉入れ、騎馬戦、学年対抗リレー等の新種目を取り入れました。

その中でも、応援合戦は各色の応援団が応援団長を中心に応援内容を考案し、練習を重ねてくれました。また、各生徒が応援練習に熱心に取り組んでいる姿も見られました。その甲斐もあってプログラムの最初からグラウンドの熱気とボルテージは最高潮に達しました。

《マスコットの招待》

本校生徒の保護者の提案もあり、今回の体育祭に応援マスケットとして「スヌーピー」が参加してくれました。生徒と一緒に選手宣誓、生徒との写真撮影、競技の応援と参加などさまざまな場面で体育祭を盛り上げてくれました。スヌーピーのあの愛らしさを忘れません。こういった機会を与えていただいたことに感謝。また、来てくれるといいな。

《校歌でダンス》

今年度は西武台千葉中学高等学校の伝統的なダンスが作成され、発表されました。本校の校歌をベースにして音楽家でボイスコンサルトの寺岡大樹さんに楽曲を編成していただき、振り付けは元鹿角巨人軍公式マスケットガール、ヴィーナス、で活躍したダンススクール講師の風見和さんにつけていただきました。大きな動きや隊形移動と難しい部分もありましたが、本番では中学生はともて元気に可愛らしくダンスをしてくれ、体育祭を盛り上げてくれました。



令和になってから初めての体育祭の優勝は1204点で、黄組でした。おめでとう!!!
応援賞は、黄組でした。アイデアとパフォーマンスそして色が一丸となった応援を見せてくれました。赤組は今回は残念でしたが、来年のリベンジに期待しましょう。

今回の体育祭は大きな事故やケガもなく無事に終えることができました。これは、主幹として大きな力を発揮した体育委員と放送委員、休み時間等も使って練習してくれた応援団、生徒皆さんの真摯な取り組みと熱意、予定通りから本番まで準備やサポートをしていたいた先生方、これら全てが欠けることなくかみ合った結果だと思えます。

本場ありがとうございました！
来年度に向けまだまだ課題も多くありますが、生徒の皆さんが主体となり、今年以上に活気のある体育祭にしていきましょう。

オーストラリア語学研修（高校）

7月20日から9月16日の8週間と、8月16日から8月26日の11日間、オーストラリアゴールドコースト市街地及び郊外のジンブンバにあるヒルズインターナショナルカレッジにて、高校生1年生から3年生合わせて17名の生徒がオーストラリア語学研修を行いました。

8週間のプログラムに参加した生徒は、現地の校の英語を母語としない生徒のための英語学習プログラムに参加し、他の国々から集まった生徒たちと一緒に授業を受けました。授業内では、プレゼンテーションやディスカッションなど、それぞれが持つ文化や考え方の違いを共有し、理解しながら、英語力の向上に努めました。休日はホスト



ファミリーや友人と一緒に出かけることでより深い関係を築くことができました。

11日間のプログラムに参加した生徒は、初日にカララビンワイルドライフサンクチュアリを訪れて百種類以上のオーストラリア特有の動物に出会い、午後にはホストファミリーに迎えられてホームステイを始め、週末をホストの家で過ごしました。月曜日から現地で英語のレッスンを始まり、日本とオーストラリアの文化と学校の違いについて学びました。ネイティブの先生によるオリジナルングリッシュの授業に、初めは戸惑う様子も見えましたが、終わるころには積極的に発言できるようになりました。二日目からはパティの生徒たちと一緒に授業に参加しました。ヒルズでは生徒がノートPCやiPadを授業内で活



用していたり、実験を外の中庭で行ったりしていて、いつもとは違った授業を体験することができました。現地校研修最終日にはゴルフレッスンがあり、学校敷地内にあるゴルフ場でプロの講師から直接指導をしてもらいました。現地校研修最終日には、B&Bランチと修了式を行いました。約一週間とちい過ごしたパティたちと一緒に参加し、お互いに感謝の気持ちを伝えました。語学研修最終日は、ホストファミリーとお別れをした後、ゴールドコーストの市街地にて別研修を行いました。ゴールドコーストの中心地には、サーフアースパラダイスと呼ばれる有名なビーチや街を一望できる展望デッキなどがあり、各班で充実した観光をすることができました。

2つのプログラムで期間や内容は違いましたが、参加した生徒にとって今後の英語学習、国際理解において大いに実りあるものとなりました。

海外語学研修（中3）

10月25日から7日間の日程で、中学3年生はカナダ・バンターバーに行ってきました。この時期には珍しく天気にも恵まれました。

ホームステイは、昨年度より1日多い3泊4日でした。当初このホームステイに不安を抱いている生徒も多かったようですが、実際にはホストファミリーとの絆も深まり、よい思い出となったようです。

今回は、銅山の跡地にあるブリタニアマインミュージアムの見学も行いました。薄気なガイドスタッフとともにトロッコで洞窟の中へ入り、当時の採掘現場が再現された場所を見学し、

銅山の歴史を学びました。その後行った砂金取り体験にも、生徒たちは夢中になっていました。学校交流では、現地の生徒とペアを組み、授業に参加しました。生徒たちは理科や数学の授業を英語で説明され苦戦しつつも、ペアの助けがなければならぬ、楽しく過ごしていました。ほかにも日中の大学生とキャスタウンを見学したり、グループでグランビルアイランドを散策したりするなど、貴重な体験をすることができました。

この海外語学研修での様々な体験をきっかけに、よりいっそう海外に興味を持っていただきたいと思います。



音楽発表会（中学）

11月27日、奥風会館で中学校の音楽発表会が行われました。最優秀賞2年A組、優秀賞3年A組、努力賞3年B組、特別審査員賞3年A組という結果でした。伴奏者賞は2年A組の藤原愛さん、3年A組の若杉美波さんが受賞。指揮者賞は3年A組の小澤百香さん、東風谷優菜さんが受賞しました。本番が近づくとつれてどのクラスも回結力が高まり、練習にも熱が入っていました。当日はそれぞれのクラスが練習の成果を出し切り、個性がでて聴きごたえのある素晴らしい歌を披露することができました。この音楽発表会を通して感じたクラスメイトとの絆や、喜びや悔しさなどの感情は、大切な思い出になったことでしょう。



優秀賞 3年A組

最優秀賞 2年A組

ゲスト NADESHIKO

努力賞 3年B組

部活動 戦績



本年度の世界ジュニアバドミントン選手権大会が、8月30日からロシア、カザン市で行われ、本校の3年1組、栗原あかり選手が出場しました。大会前半は国際対抗の団体戦で、栗原選手はシングルスで出場しました。日本チームはアメリカ、インド、アルメニア、オーストラリアとの予選グループEを1位通過し、決勝トーナメントに進出しました。準々決勝韓国戦は3-0で快勝し、準決勝の中国戦に挑みましたが、世界の男女のダブルスと混合ダブルスを失い、2-3で惜しくも敗れましたが、堂々の第3位となりました。続く個人戦シングルスでは栗原選手が、モンゴル、インドネシア、カナダ、中国の強豪選手に勝利しました。準々決勝ではタイの新鋭と戦って惜しくも敗れましたが、第5位入賞を果たし、優勝しました。

陸上競技部（高校）

■全国高等学校陸上競技対校選手権大会

2019年8月4日～8日 沖縄県
100m 出場
2年 海老澤 隼（柏田南）
200m 準決勝進出
2年 海老澤 隼
110mH 準決勝進出
3年 仲山 真輝（野田第一）
円盤投 出場 3年 小森 裕希（茨城県）
やり投 4位 3年 内田 朝宗（春日部）
円盤投 出場 3年 内田 朝宗

■関東選手権大会

2019年8月23日～26日 群馬県
110mH 8位 3年 仲山 真輝
4×100mR 準決勝進出
2年 永井 真人（野田岩名）
海老澤 隼
岩田 隼雄（野田南前）
長澤 優真（野田東部）

4×400mR 出場

2年 渡田 航輝（柏光ケ丘）
海老澤 隼
藤原 幹太（野田南前）
1年 神原 竜斗（新松戸南）
100mH 出場
3年 駒本マツエニ 隼（野田南前）
やり投 優勝 3年 内田 朝宗

■国民体育大会

2019年10月4日～8日 茨城県
少年女子共通やり投
2位 3年 内田 朝宗
少年女子共通円盤投
8位 3年 内田 朝宗

■U20日本陸上競技

選手権大会
2019年10月18日～20日 広島県
110mH 出場
3年 仲山 真輝
やり投 3位
3年 内田 朝宗

■U18日本陸上競技選手権大会

2019年10月18日～20日 広島県
100m 出場 2年 海老澤 隼
200m B決勝1位 2年 海老澤 隼
4×100mR 出場
2年 永井 真人
海老澤 隼
1年 鈴木 拓海（柏田中）
2年 長澤 優真

■関東高等学校新人陸上競技選手権大会

2019年10月19日～20日 千葉県
走幅跳 4位 2年 酒井 雷樹（柏田中）
4×100mR 出場
2年 飯塚 力太（野田南一）
1年 神原 竜斗
2年 藤原 幹太
渡田 航輝
走幅跳 出場
1年 西尾 悠子（さいたま春野）
円盤投 出場
1年 高村友未可（春日部江門川）



バドミントン部（高校）

（男子）

■全国高校総体【個人】

2019年7月31日（水）～8月5日（月） 熊本県八代市ほか
【団体】ベスト32
3年 嶋田 匡明（春日部武蔵）
塩澤 慶輔（西武台千葉）
海本 千裕（西武台千葉）
佐藤 一真（春日部武蔵）
坂田 隼（春日部武蔵）
2年 高藤 春希（西武台千葉）
八重樫海平（西武台千葉）

【個人】

ダブルス ベスト64 塩澤 慶輔/海本 千裕
ベスト64 佐藤 一真/坂田 隼
シングルス 出場 塩澤 慶輔
出場 海本 千裕

■全日本ジュニアバドミントン選手権大会

2019年9月20日（金）～23日（月） 新潟県新潟市
ダブルス 出場 八重樫海平/
中川 創太（西武台千葉）
シングルス 出場 高藤 春希

■国民体育大会2019【都道府県対抗】

2019年9月29日（日）～10月2日（水） 茨城県石岡市
県代表 出場 塩澤・海本・千裕・佐藤 一真

■日本ジュニアグランプリ2019【都道府県対抗】

2019年12月6日（金）～8日（日） 栃木県宇都宮市
高校生の部 代表 高藤 春希

■千葉県新人バドミントン大会

2019年11月12日（水）15日（金）16日（土）19日（日）
印西市・成田市・松浦市など

【団体】優勝

2年 伊藤 彰馬（春日部武蔵）
高藤 春希・八重樫海平
中川 創太・中田 大地（野田二）
二宮 彬希（鎌田南）
笠原 大樹（鎌田南）

【個人】

ダブルス 優勝 八重樫海平/中川 創太
3位 坂田 隼/和典（春日部武蔵）/
二宮 彬希
3位 伊藤 彰馬/高藤 春希
シングルス 優勝 八重樫海平
3位 高藤 春希

→上記、団体・個人（2位まで）については、
関東競技バドミントン大会出場予定
2019年12月25日（水）～ 千葉競成田市

（女子）

■全国高校総体

【団体】3位
3年 栗原あかり（西武台千葉）
杉山 未菜（松戸西）
山田 美羽（西武台千葉）
花輪菜々美（西武台千葉）
青木杏央生（加須千成）
2年 栗原 瑠璃（西武台千葉）
1年 梶川 遥（西武台千葉）

【個人】

ダブルス 3位 栗原あかり/杉山 未菜
ベスト32 栗原 瑠璃/梶川 遥
シングルス 5位 栗原あかり
5位 栗原 瑠璃

■国民体育大会2019【都道府県対抗】5位

県代表 3年 杉山 未菜
2年 栗原 瑠璃
3年 岡本晴希未（西武台千葉）

■全日本ジュニアバドミントン選手権大会

シングルス 5位 栗原 瑠璃
ダブルス 出場 栗原 瑠璃/梶川 遥

■日本ジュニアグランプリ2019【都道府県対抗】

高校生の部 代表 栗原 瑠璃

■千葉県新人バドミントン大会

【団体】優勝
2年 鈴木 碧水（守谷愛宕）
栗原 瑠璃
石原日菜子（昭和学院）
近 美希（春日部武蔵）
1年 梶川 遥（西武台千葉）
杉山 未菜（松戸西）
木下 紗夢（西武台千葉）

【個人】

シングルス 優勝 栗原 瑠璃
準優勝 杉山 未菜
3位 梶川 遥
ダブルス 優勝 栗原 瑠璃/梶川 遥
→上記、団体・個人（2位まで）については、
関東競技バドミントン大会出場予定

ソフトテニス部（高校）

■令和元年度関東高等学校ソフトテニス大会

埼玉県狭山観光山公園テニスコート
2019年5月31日～6月3日
3回戦

3年 藤原 悠輝
（滝山八木）
3年 高井 祐希
（西武台千葉）
2回戦
3年 名倉 圭亮
（滝・中野）
3年 岩田 悠輝
（野田岩名）



■全国高等学校総体体育大会（南部九州総体2019）

高崎県 高崎市生田の杜運動公園 2019年7月24日～28日
2回戦

3年 名倉 圭亮・岩田 悠輝
上村・松本（原誠学園）に勝利
■関東シングルス選手権大会
千葉県スポーツセンター
3年 金子 彩乃（西武台千葉）

ボクシング部

■関東大会 2019年5月31日～6月3日 神奈川県
フライ級出場 3年 松崎 遼（古川東）
■関東選手権大会 2020年1月23日～1月26日 茨城県
ライトフライ級出場 2年 坂田 朝輝（滝山東部）



坂田 朝輝

松崎 遼

バドミントン部 (中学)

■第 73 回千葉県中学校総合体育大会バドミントン競技会
2019年7月26日、28日 キックマンアリーナ
男子団体 準優勝

- 3年 石塚誠一朗 (柏橋心)
- 高城 太一 (山家宇野電主北)
- 2年 木村 輝星 (香白部川辺)
- 戸村 侑将 (東京江戸川下藤田)
- 飯前 慧 (柏十ヶ二)
- 1年 鈴木 怜佳 (白井鴨山)

男子シングルス 第3位

- 3年 石塚誠一朗
- 2年 木村 輝星

男子ダブルス 出場

- 3年 高城 太一 / 戸村 侑将

女子団体 優勝

- 3年 岡本萌奈未 (野田南百中央)
- 2年 竹澤みなみ (野田川端)
- 今村 沙利 (東京葛飾上平井)
- 藤田希聖々 (野田ニッポ)
- 飯前 千晴 (東京葛飾五木家)
- 上村 彩媛 (香白部八木崎)
- 1年 小川 琴未 (香白部牛島)

女子シングルス

- 優勝 3年 岡本萌奈未
- 準優勝 2年 竹澤みなみ
- 出場 1年 小川 琴未

女子ダブルス

- 準優勝 2年 今村 沙利 / 藤田希聖々
- ベスト8 2年 飯前 千晴 / 上村 彩媛
- 出場 3年 岡本 萌々 (野田ニッポ) / 小川 琴未 (香白部牛島)

■第 50 回関東中学校バドミントン大会

2019年8月6日-8日

東京都豊田区 豊田区総合体育館

男子団体 出場

- 3年 石塚誠一朗・高城 太一
- 2年 木村 輝星・戸村 侑将・飯前 慧
- 1年 鈴木 怜佳

男子シングルス 出場 3年 石塚誠一朗

女子団体 準優勝

- 3年 岡本萌奈未
- 2年 竹澤みなみ・今村 沙利・藤田希聖々
- 飯前 千晴・上村 彩媛
- 1年 小川 琴未

女子シングルス

- 準優勝 3年 岡本萌奈未
- 第5位 2年 竹澤みなみ

女子ダブルス

- 第5位 2年 今村 沙利 / 藤田希聖々

■第 49 回全国中学校バドミントン大会

2019年8月19日~22日

兵庫県尼崎市 ハイコム総合体育館

女子団体 出場

- 3年 岡本萌奈未
- 2年 竹澤みなみ・今村 沙利・藤田希聖々
- 飯前 千晴・上村 彩媛
- 1年 小川 琴未

女子シングルス

- ベスト16 3年 岡本萌奈未
- 出場 2年 竹澤みなみ

女子ダブルス

- 出場 2年 今村 沙利 / 藤田希聖々

水泳部 (中学)

■第 43 回関東中学校水泳競技大会

男子 400 m自由形 出場

- 1年 櫻井陸也 (二川)

ゴルフ部 (高校)

(男子)

■第 38 回関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会
団体決勝 6位

■全国高等学校ゴルフ選手権

団体の部 21位

- 2年 安藤 真輝 (流山東辰井)
- 2年 石谷嶋月希 (我孫子)
- 2年 小林孝史郎 (松戸聖ヶ沢)
- 1年 小林 大河 (葛飾区東金台)
- 1年 斎藤 光 (足立区深江)

■第 53 回関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会
個人の部

- 1年 斎藤 光 11位タイ
- 1年 小林 大河 15位タイ
- 2年 石谷嶋月希 42位タイ
- 2年 小林孝史郎 52位タイ

■全国高等学校ゴルフ選手権

- 1年 小林 大河 12位タイ
- 1年 斎藤 光 134位タイ

■関東ジュニアゴルフ選手権男子

15歳~17歳の部

- 1年 小林 大河 優勝
- 2年 小林孝史郎 32位タイ

■第 25 回日本ジュニアゴルフ選手権男子

15歳~17歳の部

- 1年 小林 大河 2位タイ
- 2年 小林孝史郎 Cut 55位タイ

■関東アマチュアゴルフ選手権競技

- 1年 小林 大河 4位タイ
- 2年 小林孝史郎 Cut 119位タイ

■第 104 回日本アマチュアゴルフ選手権競技

- 1年 小林 大河 44位タイ



水泳部 (高校)

■第 70 回関東高等学校選手権水泳競技大会

男子 1500 m 自由形

- 1年 石井 龍大 (第5)

女子 800 m 自由形

- 3年 沼尾 紀穂 (沼崎)

女子 100 m 平泳ぎ

- 1年 星 晴々香 (西原)

女子 200 m 平泳ぎ

- 1年 星 晴々香

女子 200 m バタフライ

- 3年 沼尾 紀穂

女子 800 m フリーリレー

- 3年 沼尾 紀穂
- 2年 針ヶ谷若葉 (西武台千葉)・森山 鈴緒 (北陽)
- 1年 櫻井 豊保 (西武台千葉)

女子 400 m メドレーリレー

- 2年 森山 鈴緒
- 1年 星 晴々香
- 3年 沼尾 紀穂
- 1年 本多 一歩 (東茨井)

吹奏楽部

■Japan Cup 全国高等学校選抜大会 8位入賞

■第 54 回マーチングバンド関東大会 金賞

■第 74 回国民体育大会

- 個人3位タイ 団体7位 (東京都)
- 1年 小林 大河

■第 84 回 日本オープンゴルフ選手権

- 1年 小林 大河 Cut 82位タイ

(女子)

■第 34 回関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会

団体の部 14位

- 3年 中橋 志歩 (松伏第二)
- 3年 矢口あやめ (柏聖務)
- 2年 片瀬 すず (西武台千葉)
- 1年 斎藤 慧奈 (さいたま城北)
- 1年 沼辺さくら (船橋吉和)

■第 53 回関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会
個人の部

- 2年 片瀬 すず 30位タイ
- 1年 斎藤 慧奈 57位タイ
- 3年 中橋 志歩 67位タイ
- 1年 沼辺さくら 67位タイ
- 3年 矢口あやめ 96位タイ
- 2年 伊藤 叶 (松戸第五) 109位タイ

■第 63 回全国高等学校ゴルフ選手権

個人の部

- 2年 片瀬 すず 51位タイ

■関東ジュニアゴルフ選手権女子

15歳~17歳の部

- 1年 斎藤 慧奈 Cut 57位タイ
- 2年 伊藤 叶 Cut 78位タイ



ダンスドリル部

■全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2019

ショートフラッグ部門 第3位

- 3年 橋本 果菜 (野田南百)・長谷川華音 (春日部)
- 佐藤 均磨 (武蔵台千葉)
- 2年 辻井 百穂 (野田南百)・安部 美結 (野田川端)
- 前田 朱莉 (松東)・新川 結菜 (野田南百)
- 吉橋 藍美 (野田南百)・志村 優美 (柏聖務)

■USA Japan チャレンジング&ダンス

学生選手権大会 2019

高校編成 Song/Pom部門

Advance Small 第3位

- 3年 橋本 果菜・長谷川華音・佐藤 均磨
- 2年 辻井 百穂・安部 美結・前田 朱莉
- 新川 結菜・吉橋 優美・志村 優美
- 1年 菊地 春和 (北武台西原)・田上 琴葉 (境第一)
- 大川 美紗 (八潮八幡)・丸山 彩華 (流山北都)

■第 19 回全日本アマダンス選手権大会関東予選大会

Pom部門高校生 Medium編成

出場 - 審査員特別賞

- 2年 辻井 百穂・安部 美結・前田 朱莉
- 新川 結菜・吉橋 優美・志村 優美
- 前田 朱莉
- 1年 菊地 春和・田上 琴葉・大川 美紗
- 丸山 彩華



中学校



会長	2年A組	須藤	広喜	野田市立岡崎小
副会長	2年A組	藤原	愛	野田市立中央小
	1年A組	岡田	和果	野田市立南部小
書記	2年A組	井上	魁	春日部市立桜川小
	1年A組	山口	美祐	久喜市立江面第一小
会計	2年B組	桑嶋	真妃	野田市立川間小
	1年A組	飯島	美心	柏市立十倉二小
議長	2年A組	鶴海	千晴	葛飾区立宝木塚小

高等学校



会長	2年3組	渡邊	彩水	野田市立川間中
副会長	2年2組	齋藤	開斗	鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中
	1年3組	山下	綾	野田市立南部中
書記	2年4組	白樹	美優	西武台千葉中
	1年8組	田代	優大	越谷市立大相模中
会計	2年2組	関根	涼太	春日部市立栗中
	1年7組	磯下	樹	野田市立岩名中
議長	2年3組	宮部	敦也	野田市立岩名中

生徒会役員

学生書道全国展
「全国4位」

令和元年度第43回学生書道全国展で、書道部の中2・金子心夢さんが「全日本書写書道教育研究会賞」に輝きました。この賞は、今回の展覧会に出展した全国の小・中・高校生の作品のうち、全国上位4番目（5%以内）の栄冠です。



8月24日に学芸大学で表彰式が行われました。おめでとうございます。



税に関する
高校生の作文

柏税務署長賞 高梨 碧
題「消費税増税の目的」



葛北支会中学校英語発表会

9月18日（水）に野田市親展会館で葛北支会中学校英語発表会が行われ、野田市と流山市の2校が集まりました。本校からは、清井菜々子さん【春日部桜川小】・小川陽菜さん【坂東中川小】・ヘア（1年合唱の部）、河原礼佳さん【野田岩木小】（2年合唱の部）、鈴木友実さん【野田七光台小】（3年合唱の部）、東直谷優菜さん【野田北部小】（3年スピーチの部）の5名が参加し、2年生の河原さんが2年合唱の部で2位に入賞しました。



高校・英語スピーチコンテスト

10月1日に開智国際大学で令和元年度千葉県高等学校生徒英語研究発表会柏地区大会が行われました。本校からは、1年リーディング部門に竹内みずほさん（野田第二中）、1年レシテーション部門に栗原悠介くん（春日部葛飾中）、2・3年レシテーション部門に針ヶ谷若葉さん（西武台千葉中）が出場しました。針ヶ谷さんは第2位に入賞、2年連続での入賞となり、11月14日に成田国際高等学校で行われた県大会にも出場しました。出場者はスピーチコンテストが良い刺激となり、英語の学習意欲を高めました。今後多くの生徒が積極的に参加してこられることを望みます。



中1 美術校外学習

10月30日、中学校1・2年生が「自然の中から美を探だし、オリジナルの水彩画を描きあげる」というテーマに沿って清水公園にて校外学習会を行いました。

すばらしい野生会日和となった当日の朝、生徒たちはスクールバスで清水公園へ移動し、全体説明を受けた後、道ごとに思い思いの場所へ移動し、風景をスケッチしました。

秋の深まり始めた清水公園はとても美しく、すばらしい作品がたくさんできました。



進路指導の取組み

中間報告②

進路指導部、後期、12月上旬までの報告です。

①SSKさらさらパワーアップ

今春、従来の直後後講習である「西武台千葉進学研究会」をSSKプロジェクトとしてスタートしましたが、①SSKアルファ「校内予備校」②SSKリベラル(教養講座)③SSK夏期集中講座「インターンシップ」なども加えさらにパワーアップした④SSK医療系プロジェクトなど、講座数40講座のラインナップを用意し、延べ600名以上が参加している一大プロジェクトになっています。

SSKアルファ(校内予備校)は月曜日に1年生特選コースの生徒を対象に「受験基礎英語」「受験基礎数学」を行い、本曜日は主に2、3年生を対象に社会科学と数学の「受験特講」を用いています。学校からの大きなバックアップと大予備校「城南教育研究所」の協力によって実現したこれらの講座の人氣は高く、秋からは新たに個別面談も実施し、新年度に向けてさらにボリュームアップを図りたいと考えています。

また、SSK教養講座は「気象予報士講座」「手話講座」が開講中で、中国黒龍江大学元教授の盧万才先生が講師を務めている本格的な「中国語講座」も人氣をあげています。この講座は夏期休業中においては、地域の方々向けの公開講座として実施されました。西武台千葉の教職員も受講するほどの本格的です。来期は「教養」「野田学」(2025)などのさらに幅広い教養講座も検討しています。ご期待ください。(8頁をも参照ください)

②第9回進学合宿「サマーキャンプ」

昨年度、埼玉県嵐山町NWEBC独立行政法人国立女性教育会館で試行されたサマーキャンプを今夏は本格稼働させ、定員を上回る受講生を集め、自身の濃い学習合宿を行いました。少人数で充実したサマーキャンプは、3日間で20時間以上の学習を経験しますが、一人一人に学習スケジュールを作成し、特に「苦学教材の克服」に重点を置いて指導に当たりました。中にはマンツーマンのような講座もあり、担当教員や受講生から集ってきたとの感想を聞いています。

来夏も7月下旬、夏休みに入っすぐにを行う予定です。集中的に場点を補強したい



NWEBC独立行政法人国立女性教育会館

生徒、迫る慶応大学受験のための追い込み学習を促している生徒はぜひ参加してください。

ちなみに恒例のパベキニーはまだ継続されています。

③校外模擬試験による全規模での実力の確認

夏休み明けには、「SSKオンライン予備校」スタディサプリの「到達度テスト」と英語特選の「ボキャブラ祭り」夏(英単語1000題一斉テスト)を「夏のトワイ」として行いました。到達度テストはやはり視察率に比肩しました。学年やクラス間の温度差が課題だと考えています。一方「ボキャブラ祭り」は学年、クラスの枠を超えた楽しいバトルになりました。これからは学校を挙げてオンライン予備校の有効活用と英単語の完全習得に努めてまいります。

続く10月下旬に行われた「秋のベネッセ」は全国でも受験生の多い模擬試験で、評価もやや辛口ですが、上位陣の成績が伸びてきています。冬期休業前には個人結果が返却されますので、それぞれ反省と新年に向けて学習の新たな計画を練り直してください。また、3年生はいよいよ入試本番になります。今まで受けた模試データをもとにまずは年間のセンターに挑戦します。いいスタートは最良のもとに十分な準備が保証してくれるはずで、期待しています！

1、2年生にあつては1月にスタディサプリ到達度テストである「冬のトワイ」ボキャブラ祭り「冬」を実施、2月には大学共通試験を念頭に置いた「河合の日」全国記述模試2を実施します。1年生はクラス分けに、2年生は具体的な受験資格に活用される予定です。先を見据えた学習習慣の確立を願っています。

④目標設定で意欲を高める「リハーサルツアー」
今年に残念ながら強い雨の日になってしまいましたが、高校2年生が具体的な進学生に、自分の家から自分の足で行ってみる「リハーサルツアー」を実施しました。早稲田大学、慶應義塾大学や、いわゆるGMARC日クラスの大学から理系専門分野の大学、そして専門学校まで14コースに分かれ、それぞれ有意義なツアーを体験しました。ますますあこがれの大学に行きたい、そして頑張りたいと思う生徒が増えたようです。(下記報告をご覧ください)

⑤自分を見つめる「記録型100日後の私への手紙」
廣域期間中に行う「100日後の私への手紙」は「記録型100日後の私への手紙」として実施されました。約3ヶ月の「目標設定」でもあり、自分の成し遂げた実績や結果の確認をするものですが、そればかりでなくその間の自分の「心の移ろい」や「考え方の成長ぶり」を確認する「自分を見つめる」キャンペーンでもあります。未来は誰にもわかりませんが自分の生きてきた道は確実に残ります。その短い足跡を自分への「手紙」という形で確認するものです。高校3年生には卒業式当日の朝、それぞれの手元に届くことになっています。

「3か月留学」「校内予備校」「教養講座」で力を伸ばす…西武台千葉

西武台千葉中学校・高等学校(千葉県野田市)は、今年度から新たに「3か月留学」「校内予備校」「教養講座」の三つの取り組みを始めた。来年度の新しい大学入試が必要とされる力を伸ばし、進学実績の向上にも役立つものと期待されている。10月23日、それぞれの活動に参加した教師・生徒たちに集まってもらい、どんな成果が上がっているかを聞いた。

「校内予備校」で受験と部活の両立が容易に！

—進学実績を高めるため、予備校の講師を招いて講習を開く「校内予備校」も実施しています。

関連記事は、下記をご覧ください。
(こちらのリンク先→<https://www.seibudai-chiba.jp/>)



ビックの影響で夏にオープンスクールを実施できない大学、専門学校が多数あるようです。すぶ濡れになりましたが、良い機会が得られました。保護者の皆様にはご心配をおかけしました。

高2 リハーサル ツアー

毎年、第2学年では1年後の進路選択に向けて進学リハーサルツアーを実施しています。本年度は10月25日(金)に希望ごとに14コースに分かれて、午前午後それぞれ1校ずつ、大学や専門学校を訪問しました。この日は台風21号の接近に伴い、雨と風が強く、交通機関にも影響があり、生徒には迷惑をかけました。来年の夏はオリンピックの影響で夏にオープンスクールを実施できない大学、専門学校が多数あるようです。すぶ濡れになりましたが、良い機会が得られました。保護者の皆様にはご心配をおかけしました。

リベラルアーツ（教養講座）

本校の教育活動の根幹のひとつに、体験・教養活動があります。現在3講座が開講されています。

気象予報士養成講座

社会的に大きな影響をもたらしている異常気象や天候について、その原因と対策を考える講座で、地球環境を守り、後世に伝えていく力を養うことを目的に行っています。書日部にある「郡部園外開放水路」の見学も行います。

中国語講座

中国語の基礎的な日常会話を学ぶことで、生活習慣の違いや独特の文化を吸収し、楽しみながらレベルアップするためのコツを学んでいます。受講者で「キョーザパーティー」も実施します。

手話講座

手話を通して自分を立場の違う人のことを想像する力が身につきました。手話表現を学び、自己紹介、趣味、家族、学校生活等について手話で表現できるようにになりました。聴覚障害の方を招いて実務手話講座を開催し、聴覚障害の知識も深まりました。



親善訪中研修旅行

8月19日（月）～24日（土）、第4回高校生親善訪中研修旅行が行われました。この研修は中国大使館の事業の一環として、西国の架け橋となる人材の育成を願って行われるものです。本校からは小林聖明君、田島瑞和さん、渡邊彩水さんの3名が、麻布、武蔵、慶應女子、早稲田実業等の生徒と一緒に参加しました。また、この研修の報告会が中国大使館教育処にて10月26日（土）に行われました。本校生徒は「中国への先入観と現実とのギャップ」をテーマに発表しました。



市民対象夏期学校開放講座「入門中国語」

開放講座に参加した本校生徒の保護者の声です

SNSで講座の募集を見つけたので、応募はがきを書いた。私は何にワクワクしたのだろうか。「中国語」という字んだことのない言葉に魅かれること、娘の通う学び舎で学べるということ、いや、生徒、という立ち位置に置かれることに心躍ったのかも知れない。

昔は当たり前の居場所であった教室だが、その環境が懐かしく、そこに今いる娘がうらやましく思えてしまう時がある。（娘にまだその気持ちは判別できずにいる。）

今回、このような場に追加させていただけたことに感謝しつつ、次回講座を応募はがきを準備しての待ちにしている。

国際理解教育講座

11月2日（土）に国際理解教育の一環として講演会が行われました。本年度4月に就任した盧万才先生と8月に就任したセレステ・ロホ先生に、それぞれ中国とフィリピンの教育、文化、社会事情などについてお話しいただきました。盧先生からは日本語、セレステ先生からは英語による講演となりました。



入学試験日のお知らせ

西武台千葉中学校

	試験日	備考
第一志望	令和元年 12月 1日(日)	終了しました
一回	令和2年 1月20日(月)	選択受験 国語・算数の2科入試
二回	令和2年 2月 6日(水)	または 国語・算数・社会・理科の4科入試

西武台千葉高等学校

	試験日	備考
推薦Ⅰ	令和2年 1月17日(金)	他校との併願 3教科 各100点満点
推薦Ⅱ	令和2年 1月18日(土)	
単願	令和2年 1月18日(土)	第一志望

特待生制度 対象 1.人物・学業に優れているもの
2.人物・スポーツ能力に優れているもの

